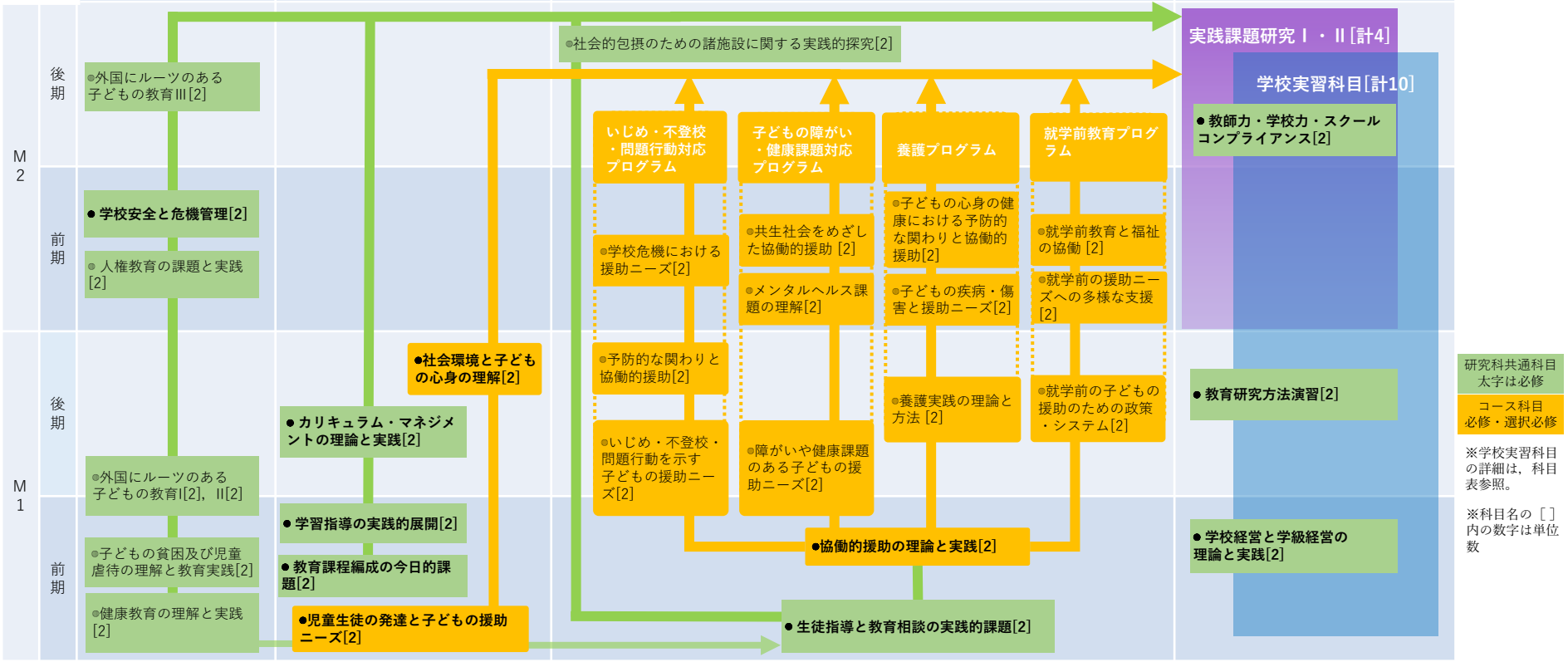
## コースの概要と人材養成のねらい

多様な援助ニーズに対応するための高度な教育的手法を探究させ、「チーム学校」の考え方に基づき学校内・外の関係者と協働して実践を展開できる教員を養成します。
そのため、子どもを取り巻く多様な援助ニーズに対して、協働的に援助する実践力を備えるとともに、現代的な教育課題である子どものいじめや不登校、問題行動に加え、発達障がい、健康課題を視野におさめ、社会環境と個人の関係性を考慮した援助のあり方を修得することを目指します。なお、養護教育や就学前教育のプログラムでは、専門性に特化した実践力を育成します。

| 配当学年 | 開講期 | （DP１）学校教育の発展的理解 | （DP２）指導内容の高度な理解と実践的指導力 | （DP３）多様な子どもに対応できる指導力 | （DP４）教職力量をみがく力 |
|---|---|---|---|---|---|
| M2・M1 | 後期・前期 | ・社会における学校の役割と望ましい専門職としての教員の在り方を理解し，それを踏まえたキャリアプランを策定できる。<br>・学校安全と危機管理，人権教育，健康教育，子どもの貧困と児童虐待，社会的包摂などの今日的な教育課題について理解し，それを応じた実践を計画・実施できる。<br>・学校の実情や特徴を踏まえた経営計画を策定できる。 | ・教育課程編成の今日的課題やカリキュラム・マネジメントの理論を理解し，それを踏まえた実践を推進できる。<br>・各学校の実情を踏まえて，当該校の教育課程全体を編成できる。<br>・教科等の授業の多様性や今日的な在り方を理解し，それらに応じた授業を計画したり，そのための教材を準備したり，その指導と評価を工夫したりできる。<br>**・子どもの発達や子ども間の関係を把握し，子どもの一人ひとりの援助ニーズを踏まえ，指導計画を作成することができる。〔ストレートマスター学生・現職教員共通〕**<br>**・子どもの様々な背景を考慮して子どもの援助ニーズを汲み取り，教育課程・内容や個別の支援に反映できる。〔ストレートマスター学生・現職教員共通〕** | ・各学校種の生徒指導上の問題のメカニズムや多様性を理解し，理論的・実践的に解釈できる。<br>・各学校種の生徒指導上の諸課題に関して，発達段階や状況に応じた指導ができる。<br>・各児童生徒の生徒指導上の諸課題に対し，適切な指導方法を選択して他の教員へ指導・助言ができる。<br>**・子どもの教育・保育上の様々な課題をアセスメントし，学校園内での支援を構想できる〔ストレートマスター学生〕**<br>**・子どもの教育・保育上の様々な課題をアセスメントし，校園内外の専門家や保護者と連携しながらの援助を構想できる。〔現職教員〕**<br>**・子ども一人ひとりのニーズに応えるだけではなく，その学校園の子どもに共通して認められるニーズについては，深刻な問題にならないように予防に取り組むことができる。〔現職教員〕**<br>**・特別なニーズ，いじめ，不登校の子どもについては，校園内外の専門家との連携を構想できる。〔ストレートマスター学生〕**<br>**・特別なニーズ，いじめ，不登校については，校園内外の専門家や保護者と協働しながら援助できる。〔現職教員〕**<br>**・個々の子どもの援助ニーズに応えつつ，子ども全体への予防教育的な活動を構想できる。〔ストレートマスター学生〕**<br>**・個々の子どもの援助ニーズに応えつつ，子ども全体への予防教育的な活動と関連させ，子どもが学びあい支えあう関係をつくることができる。〔現職教員〕** | ・教育実践を研究的に展開するための視点と方法を会得している。<br>・教育実践者としての自己を省察するとともに，他の教員との学びあいの中で教員の資質能力の向上をリードすることができる。<br>・組織としての学校やその基本単位としての学校の在り方を理解し，地域・保護者・他機関との関係の構築を進めることができる。<br>**・子どもの援助ニーズを汲み取るための，多様な視点と様々な方法を理解し，さらにそれらの共有の仕方や職業上の倫理を理解している。〔ストレートマスター学生・現職教員共通〕**<br>**・学校園などの組織の全体の動きや，学校種間の連携・協働の必要性を理解し，それぞれの機能とニーズを理解する〔ストレートマスター学生・現職教員共通〕** |




研究科共通科目 太字は必修
コース科目 必修・選択必修

※学校実習科目の詳細は，科目表参照。

※科目名の［］内の数字は単位数